

2020年 政治学科 葛谷ゼミ紹介

18JPゼミ長 高橋周平

最初に

今年度は新型コロナウイルスの影響により明治学院大学法学部の例年のゼミオリエンテーションも対面では行われず、2年生の方々はゼミ選びで分からないことも多いと思います。本ページでは葛谷ゼミについてできる限り記述することを心掛けていきたいと思います。ひいては皆さんのゼミ選びの一助となれば幸いです。

「歴史のなかで国際関係を考える」とは？

葛谷ゼミで主に扱うテーマは国際関係に関する歴史です。その扱う幅は広く、政治はもちろんのこと経済、文化面についても取り上げられることもあります。現代国際社会の諸問題について考える上で、その歴史的背景を抑えることは明白です。しかし皆さんの中には大教室で行われる講義では十分に理解しにくい、或いは不明なことを質問しにくい雰囲気を感じている人もいないのでしょうか。その点ゼミ形式の授業は「その場」で「先生や他のゼミ生」から「様々な知識、考え」を得ることが出来、より効率的に自らの理解を深めることが可能です。これは講義形式にはない利点と言って良いでしょう。

葛谷ゼミについて

葛谷ゼミの大きな授業の流れは、「国際関係に関する文献を読む。」→「その上で文献に絡めた問題を提起する。」→「先生やゼミ生の間で討論を行う。」ことです。

文献の種類は多岐にわたり、今年度は春学期には20世紀初頭に猛威を振ったスペイン風邪についての文献を取り扱いました。また秋学期には自身の関心のあるテーマについての文献をそれぞれが持ち寄って理解を深める作業をしています。

授業中は堅苦しくなく発言しやすい雰囲気でありながら、皆さん真面目に議論を行っています。加えてどんな意見もきちんと取り上げているので、自分の意見に自信が持てない人も安心して自由に発言できる場所であると言えます。

今年度は1日開催でしたが、例年は2泊程度のゼミ合宿を行っており、秋学期にはフィールドワークなど、教室以外での活動にも挑戦できます。

葛谷ゼミでは他の人からの意見や考えについて知り、ひいては自身の理解に繋げることが出来るという点が良いところであると考えています。

最後になりますが、皆さんのゼミ選びが上手くいくことを祈っています。